

# 愛の便り

校訓: 志が人生を創る

雲仙市立愛野中学校 学校便り

令和6年 5月 2日

第85号

文責 (校長; 末永栄喜)



## 明日からGWその2! 有意義な連休に!!



ツツジが初夏の日差しに映え、若葉が目にもぶしい時季になりました。学校から見える山々は巨大なブロッコリーに覆われ、青い空とのコントラストが見事です。



明日からGWも後半の4連休です。疲れを取ることも休みの大事な要素です。事故やけがには十分気をつけながらも、家の手伝いをしたり普段できないことに時間をかけたなりなど、有意義な生活を送ってほしいと思います。遠出の計画がおありのご家庭はくれぐれも気をつけてお出かけください。

さて、前号では、PTA 総会での話を中心に紹介しましたが、今号では、その後行われた部活動振興会について触れさせていただきます。ただし、本便りでは当日よりも詳細な事情を交えながら紹介していきます。

本年度の新入生部活動入部率は67%と昨年を少し上回ったものの、学校全体としては68%となっています(2年生60%、3年生78%)。昨年度まで部員不足によって他校と合同で練習を重ねながら大会に出場していた部もありましたが、新入生の加入によってその問題も一旦は解消しました。(女子バレー部はそれでも一人不足しています。)

しかし(少し先のこととなりますが)、中総体が終わって3年生が退いた夏以降となると再び、部員不足に悩む他校を探して合同チームの結成を余儀なくされるわけです。当然、平日の練習にも支障をきたすとともに、学校間の往復や指導方針の問題、他校生徒との人間関係等、様々な課題が浮かび上がってきます。合同チームとしての大会参加はあくまでも救済措置であることを踏まえ、保護者や顧問の負担軽減等を考えれば、乗り越えるにはその障壁は小さくはありません。当然のように雲仙市内に限らず、他市町の学校も同様の事情を抱えているのが実態です。

国や県の方針を受けて、雲仙市も令和7年度末までには、週休日(土日)の部活動を地域クラブへ完全移行とするゴールを定めています。これを受けて、やがて学校部活動は学校から離れていくわけです。これを機に、学校部活動の在り方そのものを大きく見直さなければいけない時期が来ているのです。

とりわけ、部活動の休部・廃部に関しては手を加える必要があることから、市内中学校で足並みをそろえて規約(規定)の見直しを図っているところです。

ちなみに、本校の部活動振興会規定の第5条(3)に、以下の文言があります。

①部活動として正常な活動ができなくなった場合、運営委員会で検討し、職員会議での協議を経て校長が決定する。

②休部した部が3年間を経過して復活する見通しがなければ廃部とする。

この条文をもっと明確にする必要があるということです。今、市内中学校の校長会でも検討を重ねているところです。確定次第、年度内の臨時総会もしくは、次年度総会で改正承認を得ることを目標としています。

もちろん、休部期間中であっても合同チームとして大会出場が可能な場合はこれを認めます。個人戦においてはその出場を妨げるものではありませんし、休部中(募集停止後)であっても現役部員の活動は認める方向です。

このことは、あくまでも中学校部活動の地域連携・移行に向けた推進の途上にある解決すべき問題であるということです。令和7年度末の地域クラブへの土日完全移行へ向けた段階的措置であり、休日における脱教員指導の実現を図ることが目的でもあります。何とぞご理解を賜りますようお願いする次第です。

## 「結束」のもとで



連休前の先週から本格的な体育大会の練習が始まっていますが、それに先じて結団式が行われました。写真は保体委員長 館流星さんと副委員長の佐藤尋太さんの全校生徒に向けた挨拶の様子です。

その後、体育館のA・B館に分かれて赤団(1組)と黄団(2組)に分かれて、団長の市川鷺汰さん(赤団)と荒木瑛さん(黄団)からそれぞれ決意が述べられ士気を高めていました。



縦割り集団がどんな結束力を見せるのか今から楽しみです。総じて、どんな愛野中としての団結力を示すのかにも注目したいところです。



## 収穫間近です!

現3年生が技術科(栽培領域)の時間を利用して植えたジャガイモが芽を出し、卒業生とともに植え付けた玉ねぎとともに立派に育っています。あと1か月ほどで収穫できそうですが、土の中で育つ作物は見えないので肝心のイモがどれほどかは掘ってみないとわかりません。中庭のジャガイモも茎が異様に長く伸びて、これまた心配です。少々不安ではありますが、収穫を楽しみにしたいと思います。



## 表彰伝達

◆第35回諫早市長杯争奪スポーツ選手権大会

○柔道競技(4/28) 団体戦 優勝

・個人戦 中学2・3年男子重量級 優勝 内田 稔弥

〃 中量級 優勝 植田 喜一

〃 軽量級 優勝 佐藤 尋太

〃 軽重量級 第3位 一明 義生

中学1年重量級 優勝 吉田 朱鷺也

女子軽量級の部 優勝 南 楓花

女子中量級の部 準優勝 南 柚希



○剣道競技(4/29) 団体戦 優勝

男子個人戦 準優勝 徳永 悠馬

◆第46回長崎県道場少年剣道大会(4/28)

中学生団体の部 優勝

男子個人戦 優勝 荒木 瑛

